

第36回(通算2652回) 例会記録 2015年3月25日(水)

- 司会進行/ 上原 晃子
- ロータリーソング/ えんどうの花・四つのテスト
- ゲスト/我那覇 勇氏(石垣税関支署長)
仲里 昌章氏(石垣税関支署統括監視官)
- メイクアップ/大濱達也・大浜一郎・仁開一夫
大浜勇人・宮良榮子・奥平まゆみ(計6名)

出席報告

| | |
|-------------------|--------|
| 会 員 総 数 | 36名 |
| 出 席 義 務 会 員 | 35名 |
| 出 席 数 | 21名 |
| 欠 席 数 | 14名 |
| 出 席 率 | 60.00% |
| 通 算 出 席 率 (3 月) | 60.95% |

本日のニコニコ

| | 収 入 | 累 計 |
|---------|--------|----------|
| ニコニコBox | ¥2,000 | ¥134,000 |
| コイン Box | ¥1,636 | ¥79,747 |
| 合 計 | ¥3,636 | ¥213,747 |

😊 娘二人高校、大学と入学致しました。
淋しくなります。 (小林 昌道)

会長あいさつ:上原 秀政



最近ショックを受けたニュースがありまして、群馬大学の腹腔鏡手術で8名亡くなったという、8名というのは、データの的にもかなり確率が高くて、普通の腹腔鏡手術の14倍くらいになります。私も大学病院で研修していた頃、腹腔鏡が出始めで、消化器内科にいましたので、携わった事があります。腹腔鏡というのはお腹の腹腔内に空気を入れて、風船のようにパンパンに膨らませ、親指くらいの太さのトラカールを入れて肝臓の表面とか胆嚢とかを観察するんです。これまで試験開

腹とって、何がなんだか分からないので開けてみようよ、あの頃はMRIもないし、CTが出始めでしたので、試験的に開腹する事もありました。腹腔鏡ができたおかげで試験開腹せずに、小さな穴からのぞいて観察するという検査ができるようになりました。それが発展して現在では、胆嚢の摘出手術とか肝臓の腫瘍の摘出が出来るようになっていまして。今回の群馬大の8名の死亡というのは、私が思うに、担当の医師が功を焦ったようなきらいがないかと、大学病院というのは研究発表というのがあって、難しい症例を重ねて、何例経験したというのを学会で発表したりするんですけど、今回も発表はしているんですけど、あまりにも死亡件数が多いので、外部からおかしいんじゃないかという事で、調べが入ったら14倍くらいの高さの死亡率があると。この教授あまり腕が良くないみたいなんです。腹腔鏡を使わない開腹手術で肝臓の摘出をやっても、死者がでていて、元々外科手術というのは手先の器用さがすごく大事なんです。

かたや、天皇陛下の心臓手術をやられた天野先生という方がいるんですけど、その先生はすごく腕が良いです。日本大学医学部を卒業され、循環器畑を歩んだ先生です。先生は3浪されています。その頃を振り返って、パチンコをやったり、麻雀をしたり、遊んでばかりいて、回り道をして医学部に入ったんですけど、パチンコの腕はプロ級まで高くなったと、その頃パチンコはばねで打つんですけど、もしかしたらそれがトレーニングになったのかなと、後に言っているらしいです。

ちなみに私は大学医学部1年の時にカエルの実験で、神経を取り出して標本を作ろうという主旨でやりました。一生懸命やりましたが、先生に見せたら、神経が全部切れてるんじゃないかと、お蔭で罰として、カエルの骨格標本を作れという宿題を出されて、骨格標本は簡単だったんですけど、私は外科には向いていないと、内科に素直に進んで、今ここに居ます。

今日は我那覇署長がいらしております。有意義な話が聞けるとお思いますので、バトンタッチしたいと思います。

ゲスト卓話:我那覇 勇氏

石垣税関支署長

テーマ「～最近の密輸状況～」



昨年の7月に石垣に参りまして、もうすぐ1年になります。まだまだ石垣には慣れないんですけど、良い所いっぱいあると思っておりますので、これからさらに石垣堪能したいと思います。本日は石垣RCの皆様、こういった場を造って頂きまして、感謝申し上げます。税関の大きな仕事の中に密輸を取り締まるというのがあります。この密輸を取り締まるという所で、大変重要になるのが一般国民の皆様のお我々に対する理解と協力になります。こういう場で税関の仕事をお話するという事は私自身大変有意義に感じております。本日は短い時間ではありますが、少しでも税関の仕事をご理解いただければ大変嬉しく思います。

簡単に税関の仕事をご紹介します。大きく2つに分かれております。税関という字そのものが仕事を表しているのご理解いただければと思います。「税」は税金を徴収する機関という意味です。税関は外国からの輸入品に課される税金を徴収しております。その徴収額につきましては、年間の国税収入額の約1割になります。例えば年間の収入が今ですと約50兆くらいあるかと思いますが、その1割5兆円くらいは税関の関税収入になります。ですからあまり知られていませんが、税関は財務省の所属になります。我々年間通して大きな事件があった場合には大臣表彰がありますが、今でしたら麻生大臣から頂くというふうになっております。去年も全国でも何名かの職員が表彰を受けております。

次に「関」ですが、時代劇などに出てきます関所の意味合いのお仕事になります。関所の役割はある地域からある地域に移動する際、手形とかお尋ね者とか、人とか物とかをチェックするという機能で関所が設けられていました。現在は海外から人や物が入ってくる時のチェックする機関と

いう事になります。人は入国管理事務所という別の組織がありますが、我々税関は海外から入ってくる物をチェックするお仕事になります。この2つの大きな仕事が税関の両輪になろうかと思っております。

本日はその中でも「関」の仕事について詳しく話して行きたいと思っております。海外からの輸入ですが、この中で取り締まるということになると、やはり密輸という事になります。密輸は最近大変大きな問題になっております。これからお話しするのは、「関」の仕事の中でもいろいろと禁止されている物についてお話していきます。

最近の密輸動向、日本国内に輸入が禁止されている物、数多くあります。拳銃類、麻薬類、知的財産侵害物品(コピー商品)等が輸入が禁止されています。これ以外にもテロ関係の物資とか爆発物とかも全て輸入が禁止されています。これらの輸入禁止製品につきましては、いずれも国民の安心安全を脅かすという事で、税関でも強く取り締まっています。この中でも近年急激に増加しているというのが、薬物になります。薬物の中でも最も我々が警戒しているのが覚せい剤、覚せい剤の動向についてお話して行きたいと思っております。

覚せい剤、属名でシャブとかスピード、エスとも言われています。この覚せい剤の形状自体はテレビでもご覧になったことがあるかと思っております。白い粉状、透明の結晶状が多いです。使用方法としては主に水で溶かしまして、それを静脈注射で体に打つ方法、それから細かく砕いて、それをストロー等で鼻に直接吸引する方法、こういった方法で覚せい剤を服用する。よく覚せい剤の間違い、昔の刑事ドラマで粉状の袋に入った物を破いて舐めてシャブだというシーンがよく見られましたが、警察も私達もそんな事間違ってもやりません。その時点でシャブの現行犯で捕まるという事になりますし、それよりも純度が高いとある程度の量を一気に服用すると死んでしまうという事になります。きちんと試薬等を使って確かめることになっています。

この覚せい剤、平成10年頃から第三次覚せい

剤乱用期と言われています。第一次が戦後の混乱期、第二次が昭和の終わりごろ、現在は第三次と言われています。特徴としては、第二次までは暴力団とかそれ以外の組織とか、また使う人間もある意味では別世界という状況でしたが、第三次の乱用期につきましては一般人、それも中高年とか主婦、それから現在では芸能人、さらに怖いのは中学生とか高校生、学生にまで汚染が広がっている状況になっています。こういった状況なので、国を挙げて警察、我々、麻薬取締事務所、海上保安庁、こういった取締機関全てが共同で取り締まっている状況です。

不正薬物の摘発件数、押収量ですが、平成 19 年まではそこまでは多くないという状況でした。平成 20 年くらいを境に大麻は減少して、覚せい剤が右肩上がりに増えていくという押収量、件数になっております。特に平成 25 年、1 年半前ですけど伸びております。先々週麻薬取締事務所の密着番組でも紹介がありましたが、世界の麻薬シンジケートの組織が日本を狙って何百キロ単位という密輸を企てて、そのテレビで紹介したのは博多に着いたロードローラという道路を平らにするクルマですが、その車の部分に覚せい剤を 100 キロ以上隠して持ち込もうとしたという事件、それ以外にも何十キロ、百キロ近くの事件、それが立て続けに平成 25 年に発生して、それを税関、もしくは取締機関が摘発したので、平成 25 年は飛びぬけて多くなっています。去年はそういった大型の犯罪事件がさほど多くなかった、25 年に摘発されていますので、組織もそれを辞めたという状況が見られますが、押収量としては減って、件数は伸びているという状況になっています。特長としては小口の 1 キロ、2 キロ単位の覚せい剤の密輸事件が多くなってきたと言えます。それは何かと言いますと、運び屋と呼ばれる方法が台頭してきている状況です。もちろん昔からありますが、去年から今年にかけて著しく増えてきています。運び屋の一番の特徴は飛行機を使って、それも 1 キロ、2 キロくらいの量を体に隠したり、荷物に隠したりして持ってくるという手口が去年から

非常に多くなっています。この運び屋の手口として、まだ国内は大変な不景気です。失業者も多いという状況で、失業中の中高年に対して簡単な仕事だから、例えば「海外に行ってある人物から荷物をもたらってくるだけで 30 万あげるよ」という形で組織が運び屋を勧誘すると、普通だったらしないはずなんです、失業中、中高年などは家のローンがあるとか、家族を養わないといけないとか、子供の学費とか、お金に大変困っているという状況があって、たぶん危ない仕事だろうなと思いつつも、それを受けてしまう。これが去年から多くなっているという状況があります。

「そういう運び屋に私、なったの？」というような事例。外国に日本人が遊びに行って、そこでフリーの状態だと英語が話せないとか、非常に不安な状態になります。そこで現地の日本語を話す人間が声を掛けると、単純に安心する。日本語を話す外人というのは、悪い人に見えない。誰かも分からない、どんな人間かも分からないんだけど、日本語で現地を案内してくれるというだけで、現地の外国人が良い人に思えてしまう。最後に帰る間にその現地の人間から、日本に知り合いがいるんだけどもお土産を預かってくれないかと、日本から私の知り合いの住所に宅配か何かで送って下さい、という事で荷物を預かる。預かった観光客はまさかその中に不正な、例えば覚せい剤とか薬物が入ってる事を知らない状況で、それを単純に預かってしまうというふうな、本人が分からない所で運び屋にされているという事例もあります。

またラブコネクションと呼ばれる日本人の男性をターゲットにした事例、日本人の年配の結婚していない男性を狙って、例えば働きに来た東南アジアの女性と仲良くなって、数ヶ月して結婚したいとかいう状況になって、日本人男性は心うきうきになるわけです。その女性は一旦ビザの切り替えとか準備があるのでと海外に帰ると、その時に自分の家族に紹介したいからと言って日本人の男性を海外に連れて行くと、そこで何日かいて、私は手続きがあるから先に帰って下さいという

事で、日本人男性を先に帰すと、その時に自分の荷物を持って行ってちょうだいとトランクを 1 つ頼まれると、そのトランクが二重底になっていて覚せい剤がビッシリ入っているという事例もあります。

最後に運び屋の中ではいわゆるプロ、そういった若者や外国人が体内に隠して持ち込む方法があります。50 個から 100 個くらい一気に飲んでくるそうです。総量にして 2 キロくらい、これを一気に空港を出発する前に飲んで、上手くいって税関を通ればすぐ下剤か何かを飲んでトイレでそれを出すという手口です。この飲み込み事犯というのは、若者とか外国人に多いですけど、リスクも非常に高いです。この中の 1 つが破裂してしまったらその時点で死ぬという危険性もある手口です。一時期そういった手口は少なくなってきましたが、去年から体内陰徳の手口が非常に多くなってきている状況があります。以上覚せい剤の現状についてお話ししました。

今の状況から言って、危険ドラッグが社会問題化しています。予想として今後覚せい剤より問題になるんじゃないかと言われています。この危険ドラッグについては、3 年ほどまえですが、まだ日本ではほとんど話題にされなかった頃、米軍基地の中の捜査官と一緒に事件をやっている時に、その捜査官からアメリカで変な事件が起きたというのを聞いて、その時にランチをしていたんですが、お昼を食べきれなくなるくらいの話がありました。どういう話かという、アメリカのフロリダで発生した事件ですが、高速を車で走っていた男が突然車を止めて、洋服を脱いで裸になって、奇声を発しながら道路を走って行ったと、それだけだったらまだ良かったんですけど、途中で高架橋があってその下にホームレスが根城にしていたんですが、そこにいたホームレスにその裸の男が襲いかかって、ホームレスの顔の肉を食いちぎるという事件が発生したそうです。側にいたホームレスが怖くなって、すぐさま警察を呼んだんですが、その間、20 分か 30 分くらいずっとホームレスの肉を食いちぎっていたと、警察が駆けつけ

て制止したんですけど、聞かない、仕方がないので拳銃で発砲したと、発砲しても止めない、止めさせるのに 4 発ほど拳銃を打ち込んだという事件。その時に言われたのが、その男はゾンビドラッグを吸ったんだと、ゾンビドラッグとは当時はバスソルトと呼んでましたが、今日本で問題になっている危険ドラッグだったという話です。

危険ドラッグについてもマトリの密着でやっていました。全国初の摘発でしたが、那覇市のアパートで危険ドラッグを作っていたと、発端というのは、税関の郵便物の検査で危険ドラッグに混ざる規制されている液が引かなかったんですけど、これによって家を検索したら大量のドラッグを作っていたと、これが仮に市場に出回っていたら大変な事になっていただろうという事件でございました。これら危険ドラッグについては税関としても今後関係機関と協力しながら、取り締まるよう覚せい剤並、それ以上に強化していきたいと考えています。ぜひ税関にもいろんな情報を提供いただければと思います。本日はご清聴ありがとうございました。



台北大同RC31周年記念式典へのご参加お疲れ様でした～(´0´)



～例会風景～



貴重なお話をありがとうございました。



本日は和定食ランチ



インターアクトの活動(ご報告)

「青少年奉仕情報」

◎第26回沖縄分会大会及び沖縄分会インターアクト地区表彰並びに感謝状授与式

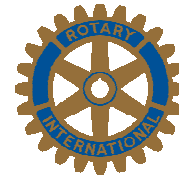
2月6日、沖縄青年会館にて、第26回沖縄分会大会及びインターアクト地区表彰並びに感謝状授与式を開催しました。



特別卓話として、那覇東ロータリークラブの長元さんが「生きる力を育むとは！！」の講演をされました。また、「3年生を送る会」では、各校が卒業生を祝すためのダンスや漫才などがエンターテインメント性の高く、また感動的であり、卒業生の心に響き渡っていました。(稲山雄一地区インターアクト委員長より)

2015年(平成27年)4月1日(水) 第37回 例会(通算2653)

国際ロータリー第2580地区



THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2550



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15 年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



●クロマダラソテツシジミ(シジミチョウ科)

日本では1992年に沖縄本島で発見されて以降、分布を広げている。翅の裏面は茶灰色地に白帯に縁取られた濃茶色紋列があり、表面は淡青色。幼虫はソテツを食べる。

例会日 水曜日 12:30～13:30
例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
TEL/FAX 0980-83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

会長: 上原 秀政
副会長: 新 賢次
幹事: 白道 直行
副幹事: 宮 良 薫
SAA・出席: 渡久地 明
情報・会報: 玉城 守雄